

令和元年度第4回白河市子ども・子育て会議 会議録

日 時： 令和元年11月28日（木） 午後6時

場 所： 白河市産業プラザ人材育成センター 研修室

出席者： 岡崎菜津子委員、飯村庄后委員、今井里志委員、十文字光伸委員、
鈴木順子委員、田中晋哉委員、樋口葉子委員（会長）、永野美代子委員、
浅賀秀寿委員（9名）

●令和元年度第4回白河市子ども・子育て会議

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

（1）第2期子ども・子育て計画の策定について

事務局より、「第1章 計画策定にあたって」及び「第4章 基本施策」について説明。

委員：10ページの「こどもの居場所づくり支援事業」について、こども食堂は、貧困家庭を対象としているイメージがあるが、市ではどのような状況か。

事務局：こども食堂には明確な定義はなく、市では親子が気軽に集える場と位置づけている。委託事業として1ヶ所実施し、自主的に運営している2団体に対して補助を行っている。委託事業は週1回、自主的に運営している2団体は、それぞれ新白河地区で月2回、公設市場で月1回開催しており、徐々に参加者が増えてきている。

委員：公設市場は行きにくい場所にあり、子どもが自分で行けないのではないか。

事務局：こども食堂を運営する団体は、経費を寄付など限られた資金で賄っており、場所を自由に選べない事情がある。

委員：18ページの「ひとり親家庭ジョブサポート事業」はどういう事業か。

事務局：平成29年度から就業支援専門員を配置し、ハローワークと連携して就業支援を行っている。

委員：50ページの「子どもの人権」について、子どもたちの声を聞く取り組みはあるか。

事務局：市長が各中学校に出向き、子どもたちの意見を聞くフォーラムを開催している。その発表内容をまとめたものを参考として、市の施策にも反映しており、これは今後も継続していく。

委員：27ページの「安全・安心に暮らせる人にやさしいまちづくり」に関連し、市内には防犯カメラが少ないと思うが、幼稚園や保育園、学校への防犯カメラの設置について動きはあるか。

事務局：学校等への防犯カメラ設置の動きはないが、町内会から、銀行等へ働きかけがあったケースがあると聞いている。どういう設置方法があるかは、検討していく。

委員：54ページの「障がい児施策の充実」について、医療的ケアが必要な子どもで、看護師の配置があれば幼稚園に通える子どもがいるが、看護師の配置は考えているか。また、児童発達支援事業所が少なく、待機が発生しているが、事業所を増やす考えはあるか。

事務局：児童発達支援事業所が少ない現状は承知しており、しらかわ地域自立支援協議会に働きかけるなどして、事業所の育成に努めていく。

委員：他の自治体で、児童クラブの申込案内に、障がいのある子どもは受け入れないと記載し、放課後等デイサービスを紹介している例がある。市では、児童クラブに障がいのある子どものための専門職員を配置する考えはあるか。

事務局：市では、障がいがあるという理由で児童クラブ入会を断っていない。場合によっては、放課後等デイサービスで専門的な支援を受けた方が、その子の成長に良い影響を及ぼすこともあるかも知れないが、基本的に保護者の考えに寄り添って対応している。また、専門性を持った職員の配置については、支援員を確保すること自体が難しいような現状にあることから困難である。

委員：児童クラブの待機はないか。

事務局：児童数が多い小学校の高学年は待機が発生している。

委員：働くお父さんの育児休暇取得率を、市では把握しているか。

事務局：昨年度のアンケートに盛りこんではいるが、全数調査ではないため、正確な率は把握していない。育児休暇を2歳ぐらゐまで取れる社会環境が望ましいと思うが、そうはなっていない。

委員：福島県は、横断歩道で車が止まらない率が全国ワースト9位である。これに

対し、何らかの対策が必要だと思うが、市の取り組みはどうか。

事務局：建設部と連携して、保育園・幼稚園の危険箇所を洗い出し、対応策を検討しているところである。なお、ご意見については交通安全担当部署にも伝えておく。

委員：了解。

4 閉会